

# Veritas NetBackup™ Self Service リリースノート

8.1

マニュアルバージョン: 1

# Veritas NetBackup™ Self Service リリースノート

最終更新日: 2017-11-03

## 法的通知と登録商標

Copyright © 2017 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は Veritas Technologies LLC または同社の米国とその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、サードパーティ（「サードパーティプログラム」）の所有物であることをベリタスが示す必要のあるサードパーティソフトウェアが含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このベリタス製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のまま提供されるものであり、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC は、本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアと見なされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202、「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。業務用またはホスト対象サービスとしてベリタスによって提供されている場合でも同様です。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC  
500 E Middlefield Road  
Mountain View, CA 94043

<http://www.veritas.com>

## テクニカルサポート

テクニカルサポートは世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、お客様のサポート契約およびその時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。サポートサービスとテクニカルサポートへの問い合わせ方法については、次の弊社の **Web** サイトにアクセスしてください。

[https://www.veritas.com/support/ja\\_JP.html](https://www.veritas.com/support/ja_JP.html)

次の URL でベリタスアカウントの情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関する質問については、次に示す地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界全域 (日本を除く)

[CustomerCare@veritas.com](mailto:CustomerCare@veritas.com)

Japan (日本)

[CustomerCare\\_Japan@veritas.com](mailto:CustomerCare_Japan@veritas.com)

## マニュアル

マニュアルの最新バージョンがあることを確認してください。各マニュアルには、2 ページに最終更新日付が記載されています。最新のマニュアルは、次のベリタス **Web** サイトで入手できます。

<https://sort.veritas.com/documents>

## マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

[NB.docs@veritas.com](mailto:NB.docs@veritas.com)

次のベリタスコミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<http://www.veritas.com/community/ja>

## ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) の表示

ベリタスの **Service and Operations Readiness Tools (SORT)** は、時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する **Web** サイトです。製品によって異なりますが、**SORT** はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。**SORT** がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

[https://sort.veritas.com/data/support/SORT\\_Data\\_Sheet.pdf](https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf)

# 目次

第 1 章	NetBackup Self Service リリースノート .....	5
	NetBackup Self Service 8.1 について .....	5
第 2 章	新機能および拡張機能 .....	7
	保護レベルの料金 .....	7
	保護レベルの分析 .....	8
	管理対象外の保護 .....	8
	[今すぐバックアップ (Backup Now)]の拡張機能 .....	9
	その他の拡張機能 .....	10
	修正済みのバグ .....	10
	以前のバージョンからのアップグレード .....	11

# NetBackup Self Service リリースノート

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Self Service 8.1 について](#)

## NetBackup Self Service 8.1 について

NetBackup Self Service 8.1 は自動化と制御を IT に提供する一方、ユーザーがセルフサービスで通常のバックアップやリストアのリクエストを処理できるようにします。

Self Service のマルチテナント、役割ベースのアクセス、ダッシュボード機能により、保護対象や進行中のバックアップ使用状況を表示できます。Self Service のリクエストフォームを使うと、NetBackup 管理の複雑性についてトレーニングを受けていないユーザーでも複合ポリシー管理タスクを安全に管理できます。

### 企業の場合

複数の場所とデータセンターで多くのエンドポイントに対しバックアップおよびリストアを管理することは、通常はスペシャリストのチームを必要とするタスクです。ポリシーへの変更を有効にすることは、時間がかかる、間違いやすい手動アクティビティとなり、これによって重大なリソースが保護されなくなる可能性があります。

直感的なセルフサービスポータルを有効にすると、複雑さと間違いが減り、多くの手動ポリシー変更アクティビティが自動化されます。また、非バックアップスペシャリストは管理および監査される環境でバックアップおよびリカバリ関連のタスクを実行できるようになります。

### サービスプロバイダの場合

混合プラットフォームで複数のテナントにバックアップおよびリストアサービスを提供することは、多くのサービスプロバイダにとって課題です。サービスプロバイダはセルフサービスを有効にし、バックアップおよびリストアに対するテナントリクエストを自動化できます。

このアクションによりテナントを管理し、プロビジョニングコストを大幅に減らすことができます。

**NetBackup Self Service** では、複数のテナントが、インフラストラクチャのバックアップおよびリストアのリクエストが直感的に行われる目的に合ったセルフサービスポータルにアクセスできるようになります。保護環境のステータスは追跡され、報告されます。

サービスプロバイダはテナント環境間の厳密な分離およびセキュリティを保証しながら、自動化から取得します。テナントは保護内容を管理および表示できます。

## インストール

**NetBackup Self Service** をインストールする方法については、『**NetBackup Self Service 8.1 インストールガイド**』を参照してください。

# 新機能および拡張機能

この章では以下の項目について説明しています。

- 保護レベルの料金
- 保護レベルの分析
- 管理対象外の保護
- [今すぐバックアップ (Backup Now)]の拡張機能
- その他の拡張機能
- 修正済みのバグ
- 以前のバージョンからのアップグレード

## 保護レベルの料金

NetBackup Self Service の料金機能が強化され、資産の保護に含まれるコストを詳細に提示できるようになりました。

NetBackup Self Service は引き続き、次の 2 つの基本的な料金タイプをサポートします。

1. 使用容量: 毎日使用されるバックアップ領域の平均値
2. 新規バックアップ: 特定期間内の新規バックアップの合計サイズ

設定済みの[コスト (Cost)]が[使用容量 (Consumed Capacity)]料金タイプに適用される場合、1 か月あたりのギガバイト (GB) 単位の料金を表します。[新規バックアップ (New Backups)]の場合は、単純に GB 単位の料金を表します。必要な場合は、[料金タイプ (Charge Type)]と[コスト (Cost)]のどちらもテナントに応じて変更できます。

NetBackup Self Service 8.1 はさらに、保護レベル固有の料金もサポートします。この変更により、ストレージプロファイルなどのポリシー属性に応じて請求金額を変更することができます。

各保護レベルに対する有効な請求金額は、[使用量 (Usage)] ページで確認できます。データには REST API を使用してアクセスできます。

## 保護レベルの分析

NetBackup Self Service のホームページダッシュボードが強化され、[表 (Charts)] という新しいタブページが追加されました。このタブには、現在使用中の保護タイプと保護レベルの分析結果が表示されます。このタブページは、[使用状況レポートを許可 (Allow Usage Report)] のアクセス権を持つテナントユーザーのみが使用できます。

次の 3 つの表を使用できます。

1. バックアップサイズ: 各タイプまたは各レベルに対し、期限が切れていないバックアップの現在のサイズを表示
2. コンピュータ数: 各タイプまたは各レベルに対し、バックアップが作成されるコンピュータの数を表示
3. 料金: 各料金レベルに対し、料金の合計を表示

すべての表に、期限が切れていないバックアップイメージの現在の合計値が表示されます。これらの表はすべてのテナント管理ユーザーに表示されます。

デフォルトでは、バックアップデータを持つすべての保護タイプが表に示されます。これらは、凡例ラベルを切り替えることによって非表示にしたり表示したりできます。

テナント管理レベルのユーザーは表をクリックして[コンピュータリスト (computer list)] ページにドリルダウンすることができます。選択した[保護レベル (Protection Level)] に応じて[コンピュータリスト (computer list)] ページがフィルタ処理されます。

表に示されるすべてのデータには、REST API を使用してアクセスできます。

## 管理対象外の保護

NetBackup Self Service 8.1 に新しい保護クラスが追加されました。これによりコンピュータをリストアし、健全性を監視できますが、保護 (ポリシー管理) は NetBackup Self Service の外で処理されると想定します。

「管理対象外」という言葉は、そのコンピュータに対し、NetBackup Self Service がポリシーの適用を管理していないことを示します。これらの「監視とリストア」のコンピュータには、他と同様に、保護タイプコードが割り当てられています。ただし、その主な目的は、バックアップの健全性の確認のために SLA を定義することです。健全性の測定のために、特定またはすべてのポリシーで作成されたバックアップのみを検出する柔軟性も提供します。



## [今すぐバックアップ (Backup Now)]の拡張機能

### ストレージレベルポリシー (SLP)

SLP は、[今すぐバックアップ (Backup Now)]保護レベルにリンクされたポリシーに対して構成し、使用できるようになりました。ユーザーに提示されるリクエストフォームは、保持期間または SLP の入力をサポートするように構成できます。利用可能なすべての SLP が、ユーザーによる選択のために提示されます。この機能は NetBackup Self Service の REST API を介して使用することもできます。

### 既存のポリシーの再利用

コンピュータがすでに保護され、スケジュール済みポリシー内に存在する場合、NetBackup Self Service はユーザーがそのポリシーを使用する即時バックアップを開始することを許可します。スケジュール済みポリシーは、選択したコンピュータに対してのみ実行されます。このオプションは、クライアントベースのポリシータイプのみにも制限されます。この機能は NetBackup Self Service の REST API を介して使用することもできます。

### 複製されたバックアップ

バックアップイメージが複数のコピーに複製されている場合、NetBackup Self Service は保持している有効期限が切れたコンピュータのイメージ情報を更新するようになりました。

[コンピュータのバックアップリスト (computer backup list)]ページに、保持されているイメージコピーの数が表示されるようになりました。

### VMware アクセラレータのバックアップ

以前の NetBackup Self Service では、すべての使用状況レポートとダッシュボードに対し、カタログに記録されているバックアップイメージのサイズを使用していました。新しい統合設定では、NetBackup Self Service が転送済みデータサイズ (存在する場合) を使用できるようになりました。これらの値は、Accelerator for VMware が使用中の場合に設定されます。

### メタデータ

NetBackup Self Service に登録されているコンピュータおよび vCloud Director のコンテナに、追加のカスタム属性を名前と値のペアとして割り当てられるようになりました。これらの属性は、NetBackup Self Service の REST API を使用して設定できます。コンピュータとコンテナは[コンピュータ詳細 (computer detail)]ページに表示されます。

コンピュータ、vApp、または vDC に対して vCloud Director で定義したあらゆるメタデータを、必要に応じて vCloud Director のスケジュール済みインポートに含めることもできます。

## VMware vRealize Automation (vRA) プラグイン

NetBackup Self Service 8.0 でリリースされた VMware vRealize のプラグインが機能強化されました。ファイルリストア、VM の自動発見、最新の NetBackup Self Service REST API (v6) の使用 (ユーザー認証を含む) のサポートなどが挙げられます。

## その他の拡張機能

### テンプレートポリシーの互換性のチェック

NetBackup Self Service の保護レベルを構成する際、割り当てられたテンプレートポリシー内のマスターサーバーの互換性を確保するためのチェックが実行されるようになりました。ポリシータイプとスケジュールが確認されます。

### コンピュータリスト

ホームページのコンピュータリストに、保護タイプの新しいフィルタが追加されました。

### 保護タイプの管理

使いやすさを改善するため、この領域内のページが再構成されました。

### REST API と Cross Origin Site のリクエスト

NetBackup Self Service の REST API で、Cross Origin Site (CORS) リクエストをサポートするようになりました。

### リクエストリスト

リクエストリストには、NetBackup Self Service を通過する、ユーザーが開始したすべてのリクエストの監査が表示されます。さまざまな操作性が改善されました。

## 修正済みのバグ

次の問題が解決されました。

- 41 文字以上の表示名を持つ vCloud Director のコンピュータが保護されるようになりました。
- vCloud Director の vApp または vDC の[今すぐバックアップ (Backup Now)]が、複数の保護レベルでも動作するようになりました。
- 保護テンプレートポリシーをコピーしたときに、ソースポリシーからポリシータイプとファイル保護フラグがコピーされるようになりました。
- コンピュータ ID による検索が実行できるようになりました。
- [接続性をチェックする (Check Connectivity)]を初めてクリックしたときに断続的なエラーが発生していた問題が解決されました。

- 特定のシナリオにおいて、[今すぐバックアップ (**Backup Now**)]を実行した後、コンピュータの更新に失敗する問題が修正されました。
- [リクエストリスト (**Request List**)]および[承認 (**Approvals**)]ビューにおけるセキュリティの脆弱性の問題が修正されました。
- リクエストの概略: [パネル (**panel**)]ビューで[価格 (**price**)]フィールドが非表示にされているときにはフィールドが表示されなくなりました。
- リクエストの概略: [パネル (**panel**)]ビューで[フルフィルメントの再試行 (**Fulfilment retry**)]オプションが動作するようになりました。
- 含まれるコンポーネントで見つかったセキュリティの脆弱性 **CVE-2017-9248** が修正されました。
- 偽装されている場合、非アクティブ化されたテナントのユーザーは選択できなくなりました。

## 以前のバージョンからのアップグレード

NetBackup Self Service 7.6.1、7.7、7.7.3、8.0 からのアップグレードがサポートされません。

詳しくは、『NetBackup Self Service インストールガイド (8.1)』を参照してください。